環 境 活 動 レ ポ ー ト



大東コーポレートサービス

作成日：２０２６年11月１日

もくじ

1	組織概要	P1
2	環境方針	P2
3	実施体制	P3
4	環境目標（中・長期）	P4
5	実績・評価	P5～6
6	取組結果と評価及び次年度取組計画	P7
7	環境関連法規等の遵守状況の確認	P8
8	代表者による全体評価と見直し結果	P9

１．組織の概要

■事業所名

大東コーポレートサービス株式会社

■代表者

代表取締役社長　福田　和宣

■会社の所在地

名称	所在地
天王洲	〒140-0002　東京都品川区東品川二丁目２番４号　天王洲ファーストタワー
品川	〒108-0075　東京都港区港南二丁目１６番１号　品川イーストワンタワー
虎ノ門	〒105-0001　東京都港区虎ノ門四丁目１番２８号　虎ノ門タワーズオフィス
有明	〒135-0063　東京都江東区有明三丁目5番7号　TOC有明ウエストタワー
浦安	〒279-0032　千葉県浦安市千鳥１５番地５　浦安市ワークステーション内
北九州	〒806-0031　福岡県九州市八幡西区熊西一丁目２番５号　ランデージ黒崎ビル

■主たる事業の種類

・大東建託及びグループ会社からの事務作業の受託
・名刺作製、看板製作、チラシ・パンフレットの印刷、図面製本、メールセンターの運営管理　他

■事業規模　（2025年度）

	単位	
資本金	百万円	100
売上高	百万円	2,778
期末従業員数	人	438
事業所床面積	m2	4,137

■事業年度

4月1日～翌年3月31日

■連絡先

環境管理責任者　　業務部　次長　多田　弘
TEL：03-6718-9300
FAX：03-6718-9268
E-mail：th003674@kentaku.co.jp

2．環境方針

大東コーポレートサービス株式会社　環境方針

■環境理念

私たちはすべての事業活動において、省資源、再利用、再資源（3R）に努め、
地球環境の保全に積極的に取り組みます。

■基本方針

私たちは環境理念の基、以下の方針を定め全員参加で取組みます。
方針に沿った活動目標の設定・遂行及び目標の見直しを通じて継続的な改善を促進します。

1.法規制：環境に関連する法規を遵守し、事業活動を行います。

2.教　育：啓蒙活動を継続して、全社員が環境に優しい活動を率先して取り組みます。

3.省資源：事務用品の使用状況を把握し、不必要な購入を控え、資源の消費を抑えます。

4.再利用：梱包材の再利用を行い、環境負荷の低減に努めます。

5.再資源：資源のリサイクルを推進し、環境負荷の低減に努めます。

6.創　造：人に優しい、より環境負荷の低減につながるサービスを提供します。

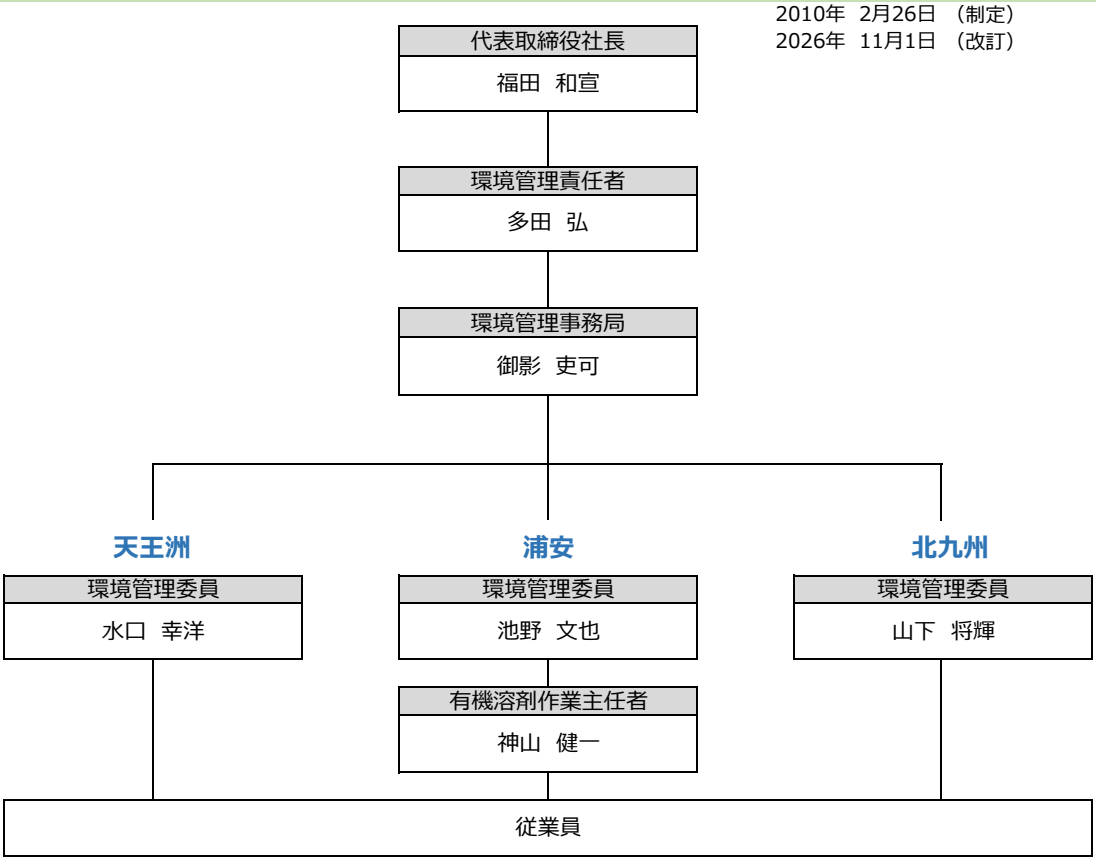
策定年月日　2010年　2月　26日（初版）
2018年　4月　　1日（改訂）

大東コーポレートサービス株式会社

代表取締役社長　　福田　和宣

3．実施体制

2010年　2月26日　（制定）
2026年　11月1日　（改訂）



■関係者の権限と役割

代表取締役社長
① 環境方針の決定
② 環境目標の決定
③ 環境経営システム全体の評価と見直し
④ 環境管理責任者の任命

環境管理責任者
① 環境目標の達成・状況把握及び改善指示
② 取組状況の社長への報告
③ 環境経営システム及び環境方針の評価と見直し

環境管理事務局
① 情報収集及びデータ分析
② 問い合わせの対応
③ 環境活動レポート作成
④ 環境目標・環境活動計画の進行管理
⑤ 環境管理責任者へ取組状況の報告
⑥ 文書・記録の管理

環境管理委員
① 従業員の環境活動推進の評価
② 環境目標達成に向けた取組実行の指導
③ 環境負荷及び取組の自己チェック実施
④ 法規制の遵守状況チェック

有機溶剤作業主任者
① 有機溶剤取り扱いの作業方法の決定
② 有機溶剤中毒防止措置の確認

従業員
① 活動の推進（具体的取組の計画・対策・実施・改善・周知）
② 自分の推進する環境活動の状況をグループリーダーに報告

４．環境目標（中･長期）

目標			具体的取組
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	エネルギー消費削減	･業務効率化による残業時間の削減と「ライトダウン」の設定・実施 ･ＰＣモニターの離席時消灯の励行 ･照明のこまめな消灯の励行 ･オフィスカジュアルの実施
	燃料	エコドライブ・アイドリングストップ	･不要な積荷を下ろす ･週一回の車内点検と月一回の燃費確認
	産業廃棄物	産業廃棄物処分量の削減	･印刷物の刷り直し・ヤレの削減・端材の削減
		包装材の削減	･納品物の簡易包装の推進、多重包装の見直し
		事務所内廃棄物の抑制と分別	･可燃物・不燃物・ビン・カン・ペットボトル　分別BOXの設置 ･廃棄物の削減、リサイクルの実施
水使用量削減		節水活動	･清掃等使用時の節水の励行、水道水使用量の削減
省資源		グリーン購入の推進	･事務用備品ならびに消耗品の購入時のグリーン製品の優先購入
		コピー用紙使用量の削減	･ペーパーレス化および両面印刷の推進、無駄な印刷の削減
化学物質使用量の把握		排出量管理	･大気、公共用水、土壌への排出確認 ･当事業所における埋め立て処分の確認
		移動量管理	･下水道への移動確認 ･当事業所の外への移動
		保管量管理	･当事業所内での保管
		その他	･化学物質排出量の管理
産業廃棄物処理適正化		電子マニフェスト運用の定着	･産業廃棄物排出時のマニフェスト情報の登録（3日以内）
		不法投棄撲滅	･すべての搬出先処分場の現地確認
違法排水の防止		排水状況の確認	･自主管理要領に則った運用と測定・記録の継続 ･自主管理要領に則った洗浄・水交換の実施 ･年1回の排出水質の測定、記録の保存（5年間）
環境活動		リサイクル運動・社会貢献活動	･自治体等の環境保全活動への強力
		自然生態系保全のための活動	･従業員による河川・海岸の保全・植林活動等の実施
		従業員を対象とした環境教育	･環境教育のための企画・立案、実施

5-1．実績･評価

原単位基準			
	生産高	189,971	（kg）
	売上高	2,778,471	（千円）
	従業員数	438	（人）

環境目標項目		単位		2025年	2024年	前年比	評価	今後の取り組み課題
二酸化炭素排出量　※（1）		Kg-CO2	実数 原単	0.1 0.0	17.4 0.7	-17.3	○	省エネ徹底の継続
エネルギー消費	購入電力	kwh	実数 売上高原単（億円）	259,534.3 9,369.5	254,438.0 9,637.8	5,096.3	△	節電の徹底継続
	灯油	L	実数 売上高原単（億円）	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0		
	都市ガス（LPG）	Nm3	実数 売上高原単（億円）	2,957.0 112.0	2,856.0 108.2	101.0	△	省エネ徹底の継続
	ガソリン	L	実数 売上高原単（億円）	157.5 6.0	398.0 15.1	-240.6	○	低燃費運転を継続
	その他エネルギー（蒸気）	MJ	実数 売上高原単（億円）	0.00005000 0.0	0.00000000 0.0	0.0 0.0	△	省エネ徹底の継続
	その他エネルギー（冷水）		実数 売上高原単（億円）	0.00005700 0.0	0.00000000 0.0	0.0 0.0	△	省エネ徹底の継続
※2 産業廃棄物排出量	再使用	kg	実数 売上高原単（億円）	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0		分別廃棄の徹底 廃棄物削減を継続
	再生利用	kg	実数 売上高原単（億円）	7,890.0 298.9	17,500.0 662.9	-9,610.0	○	
	熱回収	kg	実数 売上高原単（億円）	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0		
	単純焼却	kg	実数 売上高原単（億円）	80.0 3.0	150.0 5.7	-70.0	○	
	産業廃棄物最終処分	kg	実数 売上高原単（億円）	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0		
	産業廃棄物排出量　合計	kg	実数 売上高原単（億円）	7,970.0 301.9	17,650.0 668.6	-9,680.0	△	
水使用量の削減　※（3）		単位		2025年	2024年	前年比	評価	今後の取り組み課題
上水		m3	実数 売上高原単（億円）	2,598.5 98.4	826.0 31.3	1,772.5	△	節水活動の継続
再生水		m3	実数 売上高原単（億円）	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0		
地下水		m3	実数 売上高原単（億円）	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0		
資源の削減		単位		2025年	2024年	前年比	評価	今後の取り組み課題
グリーン購入率（購入割合）		%	実数	90.0	85.0	5.0	○	グリーン購入対象商品推進の継続
コピー用紙購入量		kg	実数 売上高原単（億円）	12,410.0 470.1	16,660.0 631.1	-4,250.0	○	使用量削減を継続

2025年度実績

		単位		排出量（漏洩） 大気への排出	公共用水域への排出	当該事業所における土壌への排	当該事業所における埋立処	移動量 下水道への移動	当該事業所の外への移動	保管量 当該事業所内での保管	今後の取り組み課題
PRTR法対象物質	キシレン	kg	適正運用	0	0	0	0	0	2.68	0	法令順守･確認継続
	エチルベンゼン	kg		0	0	0	0	0	0.45	0	
	ヘキサメチレンジイソシアート	kg		0	0	0	0	0	0.27	0	
	シクロヘキサン	kg		0	0	0	0	0		0	
	ヘプタン	kg		0	0	0	0	0		0	
その他物質		kg		0	0	0	0	0		0	
合計				0	0	0	0	0	3.40	0	

産業廃棄物処理の適正化											今後の取り組み課題
電子マニフェスト運用の定着		適正運用									法令順守･確認継続
不法投棄撲滅											法令順守･確認継続
違法排水の防止　※（5）		単位	排水量（m3）	排出量（g）							今後の取り組み課題
水質汚濁物質	BOD		3.8	0							法令順守･確認継続
	合計		3.8	0							

環境活動		
環境保全活動		法令順守･確認継続
従業員を対象とした環境教育	総合会議で環境方針や具体的な環境取り組みについて説明と実施	法令順守･確認継続

(1)　各項目を（kg-CO2）に換算、合計を二酸化炭素排出量とする。サプライチェーン集計資料より算出
(2)　産業廃棄物処分量は、中間施設へ依頼した量で計上
(3)　外部機関による使用量の把握と管理（関係法令の遵守）とする
(4)　2026年2月実施確認分の結果

5-2．実績･評価 【補足資料：生産量】

2025年度　製品の生産量概算

製品名		単位	生産量	単位	納品数	単量（ｋｇ）
紙類	名刺	kg	5,493	ケース	54,931	0.1
	建物定期報告書	kg	103,007	冊	1,030,074	0.1
	図面製本	kg	4,396	冊	6,280	0.7
その他	常設看板等（ハッポート）	kg	26,690	枚	26,690	1
	現場看板等（プラダン）	kg	3,690	枚	3,690	1
	注意看板（ハッポート）	kg	4,041	枚	4,041	1
	注意看板（アルミ複合版）	kg	2,900	枚	2,900	1
	管理看板（アルミ複合版）	kg	13,423	枚	13,423	1
	置き型看板	kg	19,580	個	1,958	10
	立て型看板	kg	6,750	個	675	10
生産量概算合計		kg	189,971			

■主な製品

名刺





建物定期報告書





常設看板





置き型看板








６．取組結果と評価及び次年度取組計画

目標			具体的取組	取組評価	今後（次年度）の取組
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	エネルギー消費削減	・業務効率化による残業時間の削減と「ライトダウン」の実施 ・ＰＣモニターの離席時消灯に取組み、エネルギー使用量を削減 ・照明の間引き点灯、一斉消灯に取組み、エネルギー消費量を削減	計画通りに取り組んだが電気使用量は増加した	取組み継続
	燃料	エコドライブ・アイドリングストップ	・車内に速度厳守・アイドリングストップの表示 ・空調の使用を見直し、設定温度を固定にした ・不要な積荷を下ろす ・週一回の車内点検と月一回の燃費確認	・社用車を1台減らしたためガソリン使用料が減少した ・空調の使い方を徹底したことによりガス使用量が概ね半減した	取組み継続
	産業廃棄物	産業廃棄物処分量の削減	・パレットを回収業者に引き取ってもらったため	計画通りに取り組めている	取組み継続
		包装材の削減	・納品物の簡易包装の推進、多重包装の見直し ・ダンボールを回収し梱包のクッション材として再利用	計画通りに取り組めている	取組み継続
		事務所内廃棄物の抑制と分別	・可燃物・不燃物・ビン・カン・ペットボトル　分別BOXの設置 ・廃棄物の削減、リサイクルを実施	分別の周知ができている	取組み継続
水使用量削減		節水活動	・清掃等使用時の節水の励行し、水道水使用量の削減	計画通りに取り組んだが水道使用量は増加した	取組み継続
省資源		グリーン購入の推進	・事務用備品ならびに消耗品の購入についてグリーン製品の優先購入の推進 ・3ヶ月に1回の頻度で啓蒙を継続	グリーン対象商品を優先して購入することによりグリーン購入率が向上した	取組み継続
		コピー用紙使用量の削減	・ペーパーレス化および両面印刷の印刷を推進、無駄な印刷の削減	ペーパーレス化によりコピー用紙の使用量が減少した	取組み継続
化学物質使用量の把握		排出量管理	・大気、公共用水、土壌への排出確認 ・当事業所における埋め立て処分の確認	計画通りに取り組めている	取組み継続
		移動量管理	・下水道への移動確認 ・当事業所の外への移動	計画通りに取り組めている	取組み継続
		保管量管理	・当事業所内での保管	計画通りに取り組めている	取組み継続
		その他	・化学物質排出量の管理	計画通りに取り組めている	取組み継続
産業廃棄物処理適正化		電子マニフェスト運用の定着	・産業廃棄物排出時にはマニフェスト情報を必ず登録（3日以内）	計画通りに取り組めている	取組み継続
		不法投棄撲滅	・すべての搬出先処分場の現地を確認	計画通りに取り組めている	取組み継続
違法排水の防止		排水状況の確認	・自主管理要領に則った運用と測定・記録を継続 ・自主管理要領に則った洗浄・水交換を実施 ・年1回の排出水質の測定、記録の保存（5年間）	計画通りに取り組めている（排水検査2026年2月に実施）	取組み継続
環境活動		リサイクル運動・社会貢献活動	・自治体等の環境保全活動への協力	計画通りに取り組めている	取組み継続
		自然生態系保全のための活動	・従業員による河川・海岸の保全・植林活動の実施	計画通りに取り組めている	
		従業員を対象とした環境教育	・環境教育のための企画、実施	計画通りに取り組めている	

7．環境関連法規等の遵守状況の確認

分類	環境関連法規等	確認項目	確認日	適否
①排出等の規制、公害防止関連の法律	環境基本法	下記排出規制、公害防止関連の法律の遵守	2026年5月8日	適
	大気汚染防止法	印刷時に使用する有害化合物及び粉じんの排出の規制、対応	2026年5月8日	適
	水質汚濁防止法	化学物質の下水への流出など	2026年5月8日	適
	下水道法	公共下水道への排水 一日50m³以上の汚水を公共下水道に排水する場合	2026年5月8日	適
	騒音規制法	特定施設の騒音が規定値を越える際に届出を必要とする 第３種区域（準工業地域）の規制 昼間　　60～65dB 朝・夕　55～65dB 夜間　　50～65dB	2026年5月8日	適
	振動規制法	特定施設の振動が規定値を越える際に届出を必要とする 第３種区域（準工業地域）の規制 午前8時～午後7まで　　65dB 午後7時～翌日の午前8時まで　60dB	2026年5月8日	適
	悪臭防止法	特定悪臭物質の取扱状況の確認、近隣からの苦情の有無	2026年5月8日	適
	工業用水法	地下水の利用状況	2026年5月8日	適
	自動車ＮＯｘ・ＰＭ法	特定施設の新設　自動車需要を大きく生じさせる用途（「特定用途」劇場・ホテル・店舗・事務所・工場等）で一定規模以上のもの・「窒素酸化物重点対策地区」、「粒子状物質重点対策地区」	2026年5月8日	適
		ディーゼル車　　使用車両のうち、排出基準に適合していない車両・東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県の一部(特定地域)	2026年5月8日	適
②廃棄物、リサイクル、循環型社会形成に関する法律	循環型社会形成推進基本法	廃棄物のうち有用な物品の再使用、再生利用など	2026年5月8日	適
	廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理（委託） マニフェスト伝票の保管 産業廃棄物 印刷紙　廃プラスチック	2026年5月8日	適
	資源有効利用促進法	商品包装紙の再利用	2026年5月8日	適
	容器包装リサイクル法	商品包装紙の再利用	2026年5月8日	適
	グリーン購入法	ガイドラインに沿った購入	2026年5月8日	適
③地球環境、省エネルギー、化学物質に関する法律	オゾン層保護法	フロン類の使用を抑制	2026年5月8日	適
	省エネ法	各事業所のエネルギー使用量の把握、改善	2026年5月8日	適
	地球温暖化対策法	各事業所の二酸化炭素排出量の把握、改善	2026年5月8日	適
	フロン回収・破壊法	冷媒用フロンの回収・破壊の措置・エアコン、冷蔵・冷凍機器 （ショーケース、自販機、冷水器等々含む）	2026年5月8日	適
	ＰＲＴＲ法	規制科学物質の適正管理（入出量など）	2026年5月8日	適
	ＰＣＢ法	PCB廃棄物の適正処理	2026年5月8日	適
	毒物及び劇物取締法	劇物の取扱・管理の状況	2026年5月8日	適
④環境情報、環境教育に関する法律	環境教育推進法	環境活動レポートの作成、定期的な環境教育の実施など	2026年5月8日	適
⑤その他関連法規				
⑤-2防災、労働安全、その他に関する法律	消防法	火災の予防 定期的な避難訓練の実施	2026年5月8日	適
	労働安全衛生法（有機則、特化則含）	労働者の健康に重大な影響のある化学物質の保管状況、使用状況の管理	2026年5月8日	適

8．代表者による全体評価と見直し結果

■環境関連法規への違反・訴訟等について

No.	項目	確認	件数	適否
1	関連法規に係る違反	レ	0	適
2	関連法規に係る訴訟	レ	0	適
3	関連法規に係る行政指導	レ	0	適
4	関連法規に係る行政処分	レ	0	適

■見直し関連情報

No.	項目	確認	コメント
1	環境目標及び目標達成状況	レ	おおむね目標通り達成できました
2	環境活動計画及び取組実施状況	レ	目標通り達成できました
3	環境関連法令要求一覧及び遵守状況	レ	記録に記載いたしました
4	地域コミュニケーション・対応記録	レ	近隣クレームはありません
5	問題点の是正・予防措置の実施状況	レ	特に問題ありません

■代表者による全体評価

2025年度は、前年度よりエネルギー消費量や資源の購入を大幅に減少させることが出来ました。
今後も、法令遵守の元、業務を行うとともに、業務効率化・生産性向上を推進し、省エネルギーに努めてまいります。
環境活動については、引き続き従業員に対する啓蒙・教育を行い、今期取り組み項目を達成するよう活動していきます。

2026年　11月　1日　　大東コーポレートサービス株式会社
代表取締役社長　福田　和宣